

令和4年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科：(地理歴史)科目：(日本史B) 対象：(第2学年 1組～7組)

科目担当者：(1組:船久保◎)(2～7組:内野◎)

教科・科目の指導目標	学習指導要領に基づき、基礎知識の確実な習得を図るとともに、各種資料から適切に情報を読み取る力・因果関係を考察し、論理的に表現する力を育む指導を行う。
------------	--

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	1. 基礎的・基本的な知識を、記号で問う問題の正答率は地理的な分野、公民的分野・歴史的分野でも例年並みであった。 2. 論述問題は、資料(統計資料を含む)を読み解き総合的に考察し、適切な表現で解答する問題であり、部分正答率は例年並みであった。複数の情報を関連付けて考察する力を伸ばす必要がある。	1. 授業時の知識確認の時間やワークシートでは、正確な語句を記述できるよう指導する。 2. 資史料や地図から情報を読み取る学習課題や論述形式の問題を、授業や定期考査に取り入れ、論理的思考力及び表現力を高めるよう工夫する。	教科会にて、下記の指導方針を確認した。 1. 平易な表現を用いて解説し、必要に応じて図化して説明することで、基本的知識を確実に定着させる。 2. 資料から情報を読み取る学習課題や論述形式の問題を、授業や定期考査に取り入れ、生徒の論理的思考力及び表現力の向上を促す。 観点別評価を見据えた授業を展開していく。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			